

Photo Gallery



楽しく読み聞かせ パパ・ママカUP講座



▲めんぼーくんの読み聞かせを楽しむ参加者

10月20日、子育て交流センターパパ・ママカUP講座が行われ、子育て中の人や子育て支援に携わる人など11組29人が参加しました。

講師にお笑い福祉士の河合孝彦さん(めんぼーくん)を招き、「絵本を使って親子で遊ぼう」をテーマに親子遊びにつながる絵本の使い方や選び方を学びました。

参加者からは「先生がパントマイムなど身振り手振りで絵本の内容を紹介してくれたのが面白かった」、「子どもに絵本を選ばせることも大事だと思った」などの声が聞こえました。



飲食店やライブでにぎわう N's マルシェ in 川の駅

10月26日、川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」で第1回N'sマルシェ in 川の駅が行われました。

マルシェでは、アクセサリーや工芸品、お菓子など25のブースが並びました。また、水防多目的センター前では音楽ライブも行われ、多くの来場者でにぎわいました。

来場者からは、「ライブを気軽にみるのができて良かった」、「楽しかった。結局4時間もいて、いろいろ食べた」などの声が聞こえました。

N'sマルシェは今後も月1回のペースで開催予定。屋台とライブが一体のイベントに足を運んでみませんか。



▲多くの人が足をとめ、食とライブを楽しみました



読書週間イベント 飛び出す仕掛け絵本を作ろう



▲親子で協力して仕掛け絵本を作りました

10月27日～11月9日は「かなみ読書週間」です。

10月27日、図書館でかなみ読書週間のイベントとして工作教室「飛び出す仕掛け絵本を作ろう」を行いました。

同イベントには、6歳～10歳の子どもとその家族20人が参加し、オリジナルのおはなしやしかけを考えて立体的な絵本を作りました。

参加した子どもたちからは「とても楽しんで作れた」、「飛び出すしかけを知って、家でも作ってみたいと思った」などの声が聞こえました。



自分でできることは自分で 町内高齢者を訪問



▲記念の花束を受けとる芹澤さん

9月26日、「敬老の日」にちなんで町内の高齢者芹澤とみさん(100歳)を訪問し、仁科町長からお祝いの花束と記念品を手渡しました。

芹澤さんは、「体で痛いところがないことやちゃんと食べられること、自分のことが自分でできることが幸せ」と話してくれました。

毎朝新聞を読むことを日課に、掃除など身の回りのことを行い、好き嫌いなく3食食べて日々元気に過ごされています。

町内で100歳以上の長寿者は男性4人、女性11人の計15人(10月末時点)です。



やさしい日本語で相手に伝える 都市交流協会拡大土曜サロン

9月28日、函南町役場で函南町都市交流協会拡大土曜サロンが行われ、都市交流協会会員など42人が参加しました。

同イベントは異文化に興味を持ってもらい、異文化交流、国際交流の推進を図る目的で年1回開催しています。今回は講師に日本女子大学の影山陽子准教授を招き、「これからの日本、これからの函南町～外国人と共に暮らす社会をつくるために」をテーマに外国人に伝えるためのやさしい日本語について学びました。

参加者からは「言葉選びが難しいが、どんな人にも伝えられるようこれからもやさしい日本語を学んで行きたい」との声が聞こえました。



▲グループワークでやさしい日本語について話し合いました



教育委員会 新教育委員に小永井さん



▲後列左から渡邊委員、小永井委員、前列左から古川委員、山邊教育長、落合委員

9月議会の同意を得て、小永井博之さん(肥田)が10月1日から新しく教育委員に任命されました。

教育委員会は山邊教育長を含む5人で組織されています。

委員の主な仕事は、町民の皆さんの声を受けて町の学校教育・生涯学習・文化芸術・スポーツ振興など教育行政の基本方針を決定することです。